

令和6年度 学校の概要

1 学校を取り巻く環境

(1) 太田地域の特性と地域住民

太田地域は、大仙市の東部の自然豊かな田園地帯に位置している。学区の東側には奥羽山脈が連なり、真木・真昼県立自然公園に指定されている。また、西側には水田地帯が広がり、農業が盛んである。秋田県民歌を作詞した倉田政嗣氏や法隆寺金堂壁画を模写した鈴木空如氏、そして、ジブリ作品などを手がけた日本を代表する美術監督である男鹿和雄氏を輩出した地域でもあり、多くの人が地域や地域の偉人に対する誇りと郷土愛をもちながら暮らしている。

県内の他の地域と同様に少子高齢化の進展が著しく、少なからず学校の活力や諸活動に影響を与えているが、地域住民の学校理解は深く、また、学校への期待も大きく、学校を大切な存在として尊重してくれている。その上で、子どもたちを慈しみ、共に育てようと協力的であり、地域の共育力の高さが実感できる。その共育力は本校にとって大きな強みとなっている。

(2) 学校と生徒

本校は、普通学級4クラス、特別支援学級1クラスの編成であり、生徒数は、1年生35人（男子20人、女子15人）、2年生38人（男子17人、女子21人）、3年生47人（男子23人、女子24人）、全校生徒数120人（男子60人、女子60人）である。素直さや優しさ、やるべきことへの努力や他と協力し合う態度、地域への思いの強さは本校生徒のよさであり強みである。一方、人間力（挑戦心・主体性・積極性、自己有用感・自尊感情、人間関係形成力）と学力〔見える学力・秘めた学力・将来に生きる学力〕、自己表現力・自己解決力〕の向上を課題と捉えている。

(3) 保護者と教職員

保護者の職業は千差万別であるが、学校や教職員の指導に寄せる期待は大きく、授業参観やその他PTA活動への参加率も非常に高い。また、部活動への支援等、学校の諸活動についてもとても協力的である。さらに、職員の学校愛も強く、団結力の強さと機動性の高さ、課題改善に取り組もうとする意欲は、保護者の協力性、地域住民の共育力とともに本校の強みである。

2 コミュニティ・スクール（CS）

～子どもたちの健やかな成長、学校の充実・発展を期す～

コミュニティ・スクール（CS）とは、学校運営協議会を設置している学校であり、学校と地域の連携・協力による学校運営により「地域とともにある学校づくり」を推進する学校である。令和4年度、大仙市教育委員会より太田地域が「コミュニティ・スクール（CS）」モデル地域として指定を受け、今年もコミュニティ・スクール（CS）としてスタートした。

(1) 学校運営協議会の役員

保護者（PTA会長） 地域学校協働活動推進員 公民館長 地域住民7名 太田3小校長 太田中学校長・教頭の15名で構成。

(2) 学校運営協議会の役割と活動

主な役割は、学校理解と地域理解を促進し、学校と地域を結び付け、地域全体で子どもたちを育む体制づくりであり、主な活動内容は次のとおりである。

- ①学校経営方針の説明と承認・共有、学校経営・教育活動についての意見・提言、地域住民・保護者の意見・願いの伝達〔会議〕
- ②学校運営協議会の会議での協議結果・学校の取組の地域への周知、地域の声の聞き取りと学校への伝達〔広報・説明・聞き取り・伝達〕
- ③学校の要請や地域の願いへの対応〔協力〕

(3) CS活動の具体

「学校に地域の力を 学校が地域の力に」を合言葉に、学校と地域が win-win の関係に。

〔学校に〕 環境整備（学校花壇、校地整備等） 学校行事・授業での指導支援 他

〔学校が〕 地域花壇・行事への参加 ボランティア活動 要請への対応 情報発信 他

この歩みをチャンスと捉え、地域との連携・協力を一層強化しながら、子どもたちの健やかな成長、本校教育活動の充実・発展につなげていく